

大規模土砂災害危機管理検討委員会

設立趣意書

平成16年の中越地震による大規模な天然ダムの形成、平成17年の台風14号による大規模な土石流・地すべり、更に今年も揖斐川や沖縄の地すべり、7月豪雨による岡谷市の大規模土石流、と大規模な土砂災害が頻発している。

これら災害においては、警戒避難体制の整備以外にも、大規模土砂災害の準備段階から発生直後の緊急対応まで、各段階に於ける危機管理が重要な課題となった。

その主なものとして、

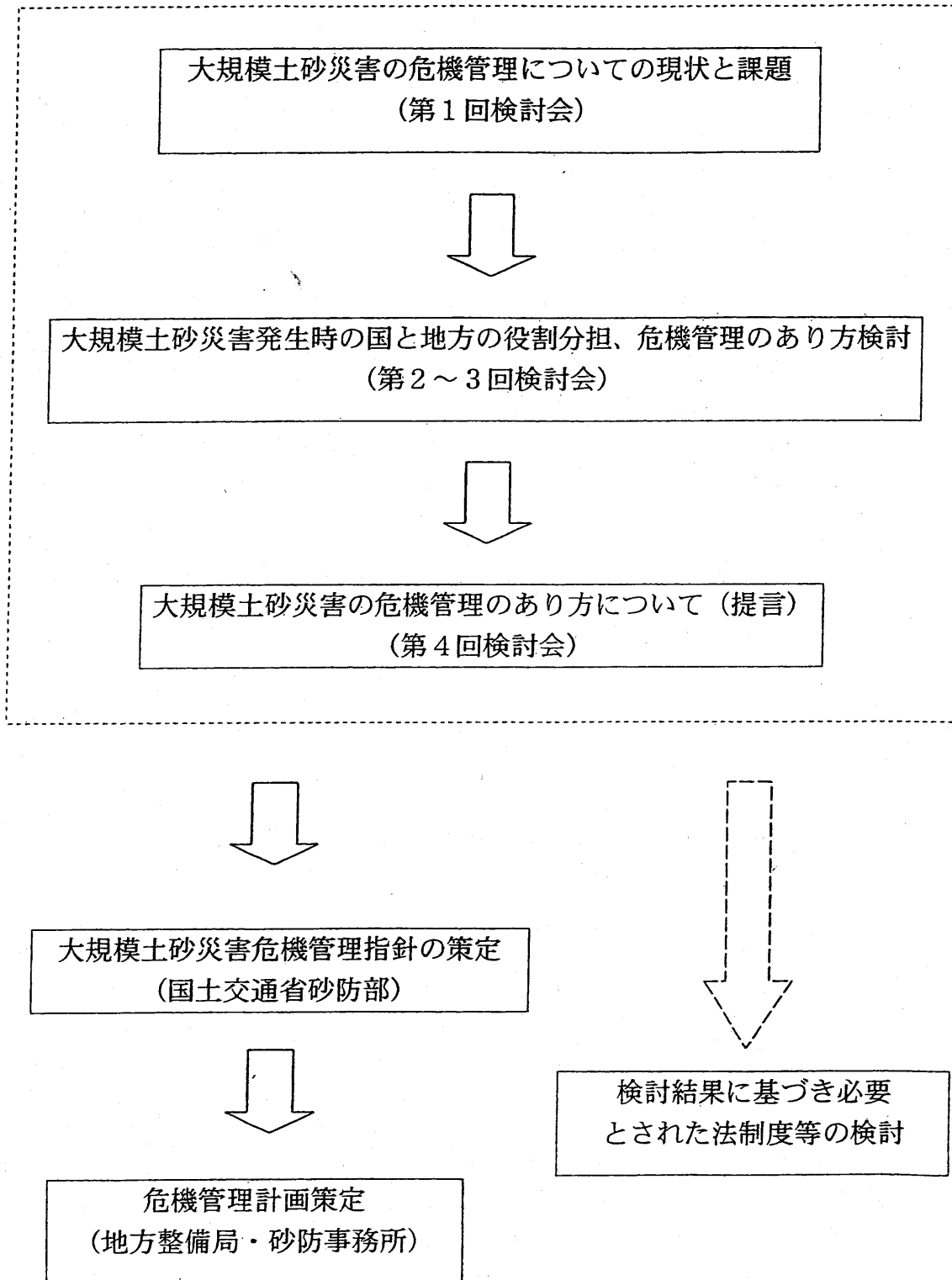
- ・国土の基幹的な土砂災害対策の中核たる直轄砂防事務所の役割は、如何にあるべきか？
- ・二次災害防止に多大な貢献をしている砂防の専門家派遣は、如何にあるべきか？
- ・斜面判定士等砂防のボランティアの役割は、如何にあるべきか？

等がある。

こうした、新たな課題に適切に対処するには、国と地方の役割分担を整理しつつ、国土を幅広く管理する国土交通省としての基本姿勢を明確にしていかなければならない。

これら課題を踏まえ、国土交通省の今後の大規模土砂災害に於ける危機管理に関する基本的な考え方に提言・助言を頂くため、「大規模土砂災害危機管理検討委員会」を設置するものである。

大規模土砂災害危機管理検討フロー



平成18年9月7日

大規模土砂災害危機管理検討委員会開催予定

〔委員会〕

第2回 平成18年11月1日（水） 15:00～17:00
 於：東京・平河町周辺

第3回 平成19年1月25日（木） 15:00～17:00
 於：東京・平河町周辺

第4回以降 今後、日程を調整

〔現地視察〕

第1回
 平成18年10月12日（木） 日帰り
 於：新潟県旧山古志村方面

第2回
 平成18年10月20日（金） 日帰り
 於：長野県岡谷市方面